**令和２年度　大阪府大阪市医療・病床懇話会　議事概要**

日時：令和２年12月23日（水）午後２時から４時00分

場所：大阪市役所　Ｐ１会議室

出席委員：14名（委員総数15名）

（中川委員、中島委員、二木委員、大道委員、三嶋委員、加納委員、中尾委員、

長尾委員、堀越委員、瀧藤委員、片桐委員、谷岡委員、吉田委員、寺澤委員）

傍聴者：２名、報道関係者：1名

**■議題（１）**令和２年度「地域医療構想」の進捗状況について

**■議題**（２）大阪市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況について

**（大阪府保健医療企画課、大阪市健康局から説明）**

【資料１】令和２年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料２】大阪市二次医療圏「地域医療構想」現状と今後の方向性

**【主な質問・意見】**

（意見）重点支援区域については今後の国の動向を確認していく必要があるのではないか。

**■議題（３）大阪市二次医療圏における各病院の今後の方向性について**

・令和２年度病院プラン調査結果の概要について

・非稼働病床の状況について（病院・有床診療所）

・過剰病床への転換にかかる継続案件について

**（大阪府保健医療企画課、大阪市健康局から説明）**

【資料3-1】令和２年度病院プラン調査結果の概要

【資料3-2】医誠会新病院の基本構想（案）にかかる大阪府大阪市保健医療連絡

協議会で意見を踏まえた「調整の場」における意見等について

【資料4-1】非稼働病床の状況（病院）

【資料4-2】非稼働病床の状況（有床診療所）

**【主な質問・意見とその回答】**

（意見）大阪警察病院と第２警察病院については詳細が未定であるため、来年度以降の議論となるのか。

（意見）平野若葉会病院については、障害者病棟の病床機能が慢性期ということであれば、過剰病床への転換になるのではないか。

（意見）大和中央病院については、回復期リハビリテーション病棟に転換予定であるが、病床機能を急性期と称している。回復期リハは基本的に回復期であるため、病床機能は回復期が望ましいのではないか。

（事務局の回答）大阪警察病院については、令和3年度病床機能再編支援補助金の活用も検討されており、病床機能等の詳細が明確になった時点で来年度以降に議論いただくことになる。平野若葉会病院、大和中央病院については病床機能等について確認する。

（会長）非稼働病床に関しては特に問題がないため承認する。

**（医誠会について大阪市健康局からこれまでの経過説明）**

**【主な意見】**

・急性期病床の68床を高度急性期病床に転換することは、過剰病床への転換であり、地域医療構想の内容に反している。

・城東中央病院の慢性期病床を回復期病床に転換することについても、診療報酬を「急性期一般入院料１」で算定するとなっており、それを回復期機能とすることについては整合性がとれていない。

・調整の場において、小児周産期医療の新設、急性期一般入院料１の診療報酬で回復期機能とすること、人材の確保など意見交換が行われたが、病院の統合・移転そのものに対する反対意見が出されるなど、医誠会の説明に対し出席者からの理解は得られなかった。

このようなことから、継続案件となっている医誠会病院にかかる過剰病床への転換については了承できず、過剰な病床機能への転換中止等にかかる知事権限の行使を前提とした大阪府医療審議会への報告の必要性について大阪府大阪市保健医療連絡協議会（地域医療構想調整会議）において審議されたい。

■**議題（４）地域医療への協力に関する意向書等の提出状況について**

**（大阪市健康局から説明）**

【資料 ５】 地域医療への協力に関する意向書

【資料 ６】 医療機器の共同利用に関する意向書

**【主な質問・意見】**

（意見）意向書の提出は任意であるが、提出してもらえるよう積極的に取り組んでいただきたい。

**■議題（５）大阪市二次医療圏における第７次大阪府医療計画の取組状況の評価について**

**（大阪市健康局から説明）**

【資料 ７】第７次大阪府医療計画ＰＤＣＡ進捗管理票

**【主な質問・意見とその回答】**

特になし

**■議題（６）地域医療介護総合確保基金事業について**

**（大阪市健康局から説明）**

【資料 ８】地域医療介護総合確保基金（医療分）について

**【主な質問・意見とその回答】**

特になし

**■議題（７）市立住吉市民病院跡地における新病院設置に伴う病院再編計画について(案)**

**（福祉局弘済院から説明）**

【資料9-1】 市立住吉市民病院跡地における新病院設置に伴う病院再編計画（案）の概要

【資料9-2】 市立住吉市民病院跡地における新病院設置に伴う病院再編計画（案）

**【主な質問・意見とその回答】**

（意見）大阪市立大学医学部附属病院が現在南エリアの認知症疾患医療センターを担っており、新病院も南エリアである。市大附属病院の本院と分院の２つが機能するように思われるが、配置についてどのように考えているのか。

（意見）2025年に新病院が開設すれば、大阪市に3つある地域型認知症疾患医療センターは2つになるという理解でいいのか。

（事務局）まだ５年先で未確定ではあるが、認知症疾患医療センターの配置の在り方については市北部地域を担う弘済院附属病院閉院後の認知症疾患医療センターも含め、地域的なバランスの問題など市全体での検討が必要と考えている。

（意見）市大病院の減床分は、昨年の病床機能報告で報告されている非稼働病床と現在の稼働病床のどちらの病床からであるのか。また、非稼働病床について検討が進められているなか、非稼働病床は基本的に返還する方向性である。病床をやりとりするのではなく、有効に病床を活用していただきたい。

**■議題（６）その他**

・新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制について

**（大阪府保健医療企画課から説明）**

【参考資料６】新型コロナウイルス感染症対策対応を踏まえた今後の医療提供体制の構築に向けた考え方（案）

**【主な質問・意見】**

特になし

終了